

|                             |          |
|-----------------------------|----------|
| 資料<br>第198回神戸市<br>環境影響評価審査会 | No.<br>7 |
|-----------------------------|----------|

# 神戸山田太陽光発電所建設事業 令和3年度事後調査報告書概要書の要約

令和4年12月

神戸山田太陽光発電所合同会社

1. 植物（概要書 P29～35）

1.1. 調査結果の概要

植物の調査結果概要は、表 1-1 に示すとおりである。

表 1-1 植物の調査結果概要（R3 年度）

|      | 項目   | 時期  | 地点     | 結果  |
|------|--|---|--------|---|
| 環境調査 | 重要な種<br>(維管束植物 4 種)<br>コヒロハナヤスリ、<br>テイショウソク、<br>セイカハリイ、<br>サイハイラン<br>(藻類 1 種)<br>ハデフラスコモ | コヒロハナヤスリ、<br>サイハイラン<br>: 6/16<br>テイショウソク、<br>セイカハリイ、<br>ハデフラスコモ<br>: 7/30 | 移植先    | <ul style="list-style-type: none"> <li>コヒロハナヤスリは 185 体移植し 294 個体を確認</li> <li>テイショウソクは 71 個体移植し、44 個体確認</li> <li>セイカハリイは 6 個体移植し、2 個体確認</li> <li>サイハイランは 39 個体移植し、30 個体確認</li> <li>ハデフラスコモは、生育地の池の底土約 2kg を移植したが、個体は確認できず</li> </ul> |
| 施設調査 | 移設地の維持管理   | 9/6～9/7、<br>3/21  | 移植先    | <ul style="list-style-type: none"> <li>被圧している草本類の刈り取りを実施</li> <li>移植先の生息環境は維持</li> </ul>  |
|      | その他環境保全措置の実施状況   | 工事期間中   | 工事実施区域 | <ul style="list-style-type: none"> <li>工事用車両のタイヤ洗浄、法面の早期緑化、事業実施区域外の重要な種の生息環境の維持管理等を実施</li> </ul>  |

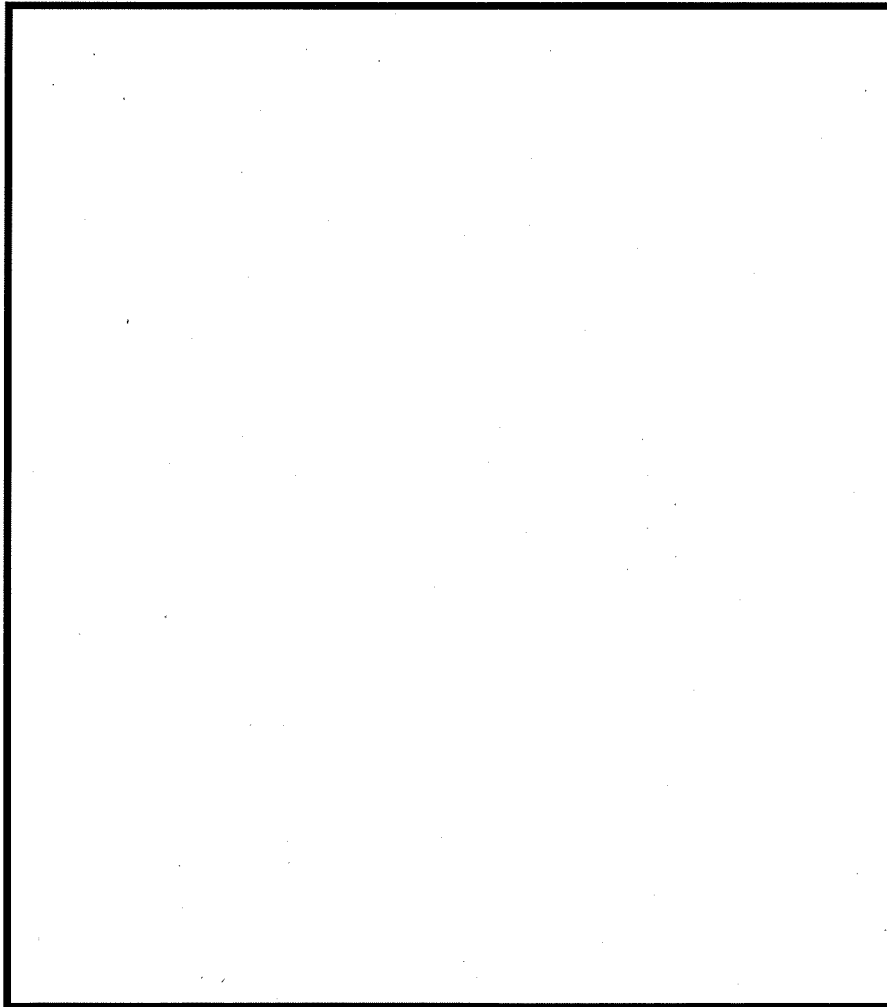


図 1-1 植物調査位置図

## 2. 動物（概要書 P36～55）

### 2.1. 調査結果の概要

動物の調査結果概要は、表 2-1 に示すとおりである。

表 2-1 動物の調査結果概要（R3 年度）

|      | 項目   | 時期                  | 地点                           | 結果   |
|------|--|---------------------|------------------------------|--|
| 環境調査 | 重要な種(爬虫類 1 種)<br>ニホンイカガメ   | 7/1                 | 移設先<br>□                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2 個体移設したが、確認できなかった</li> <li>・移設個体が移設地の周辺域に移動したため、調査時には確認できなかったと考えられる</li> </ul>  |
|      | 重要な種(両生類 5 種)<br>ニホンヒキガエル、ニホンアカガエル、トノサマガエル、シュレーゲルアオガエル、モリアオガエル   | 7/1                 | 移設地<br>(A,B,C) <sup>※注</sup> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・移設結果は次頁の表参照</li> <li>・移設地 B ではセウチサシウオ幼生等の捕食により、モリアオガエル幼生の個体数が減少した可能性が考えられる</li> </ul>  |
|      | 重要な種(昆虫類 10 種)<br>オオミスジ、コオミスジ、ヒメゲンゴロウ、リスツブゲンゴロウ、マルチビゲンゴロウ、ヒメゲンゴロウ、キロコカラシミスジ、チュウブホリガムシ、スズヒラガムシ、ミキシジミガムシ | 7/1、<br>9/6～<br>9/7 | 移設地<br>(A,B,C) <sup>※注</sup> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・移設結果は次頁の表参照</li> <li>・コオミスジ、マルチビゲンゴロウ、チュウブホリガムシ、スズヒラガムシが確認された</li> <li>・その他 6 種は確認されなかった</li> <li>・確認されなかった種、移設先で確認数が少なかった種については、調査時には飛翔して周辺の生息地に移動していた可能性が考えられる</li> </ul>  |
|      | 重要な種(陸産貝類 3 種)<br>ヒメカサヒ、ケガヒ、ロトマイマイ、ギョウリキマイマイ   | 7/1                 | 移設地<br>(A,B,C) <sup>※注</sup> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・移設結果は次頁の表参照</li> <li>・すべての生息が確認された</li> <li>・ギョウリキマイマイが移設地 A で確認されなかったが、調査時には移設個体が周辺の樹林地に分散していたと考えられる</li> </ul>   |
|      | 重要な種(魚類 3 種)<br>トビジョウ、シメダカ、シマヒヨシホリ   | 7/5                 | 移設地<br>(A,B,C) <sup>※注</sup> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・移設結果は次頁の表参照</li> <li>・トビジョウ、シメダカの生息が確認されたが、トビジョウは移設地 B で確認できず、シメダカは移設地 C で確認できなかった。シメダカが移設地 B で 7 個体の確認にとどまったが、調査時に限られた移設個体が水域に広く分布していたことが原因と考えられる</li> <li>・シマヒヨシホリは確認できなかった</li> <li>・コオミスジ等の水生昆虫の捕食により、移設個体が大きく減少した可能性が考えられる</li> </ul> |
|      | 重要な種(底生動物 5 種)<br>オオタニシ、ヒラキミスマイマイ、ヒラキイトキ、イカゲイ、トブシジミ  | 7/5、<br>9/6～<br>9/7 | 移設地<br>(A,B,C) <sup>※注</sup> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・移設結果は次頁の表参照</li> <li>・オオタニシ、ヒラキミスマイマイを確認した</li> <li>・オオタニシは移設地 B で確認されなかったが、調査時に限られた移設個体が水域に広く分布していたことが原因と考えられる</li> <li>・その他 3 種は確認されなかった</li> </ul>  |
| 施設調査 | 電子防鳥機の設置状況   | 工事<br>着手前           | 改変区域                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子防鳥機からタカ類やカラス類の鳴き声が断続的に鳴り続けていることを確認</li> </ul>  |
|      | 移設地の維持管理の状況  | 3/21                | 移設地<br>(A,B,C)               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・草刈や水域の泥上げ等の維持管理を実施</li> <li>・移設先の生息環境は維持</li> </ul>  |
|      | その他環境保全措置の実施状況   | 工事<br>期間中           | 工事実施<br>区域                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事区域の調整、コンデションング、低騒音・低振動建設機械の使用等を実施</li> </ul>   |

※注：動物種によっては、移設地 A,B,C のすべてに移設しているわけではないが、生息環境が整っているため、調査を実施した。

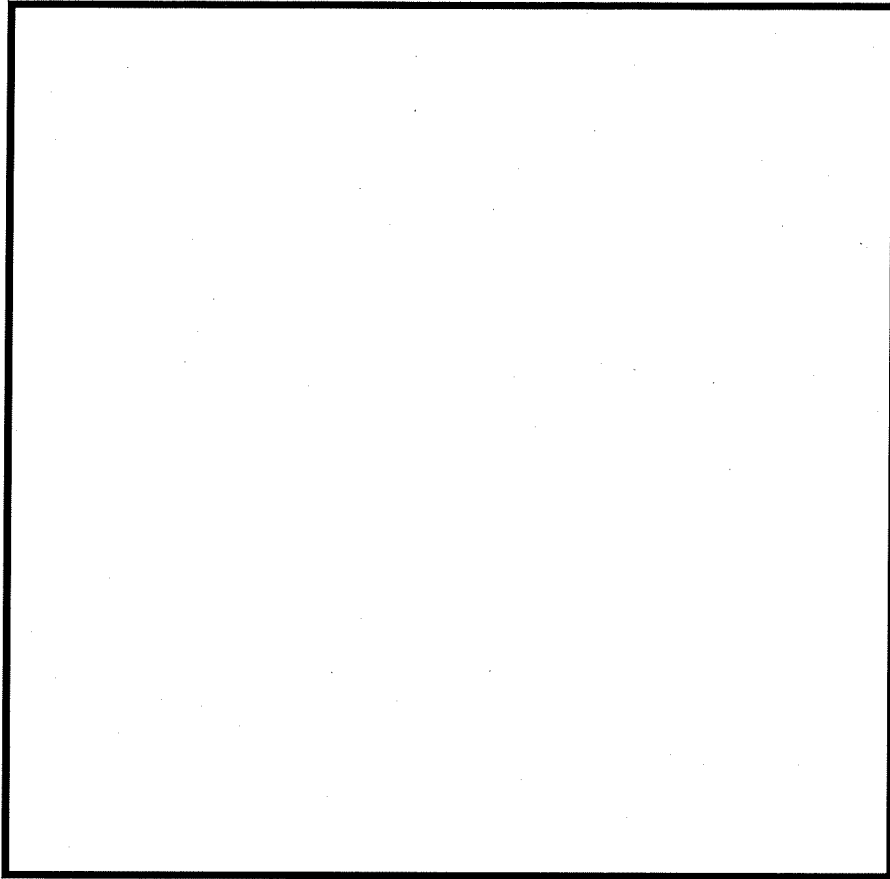


図 2-1 動物調査位置図

### 3. 生態系（概要書 P56～68）

#### 3.1. 調査結果の概要

生態系の調査結果概要は、表 3-1 に示すとおりである。

表 3-1 生態系の調査結果概要（R3 年度）

|      | 項目                       | 時期                             | 地点                       | 結果   |
|------|--------------------------|--------------------------------|--------------------------|--|
| 環境調査 | 上位性の注目種<br>(オオタカ)        | 6/21～<br>6/22<br>3/21～<br>3/22 | 事業実施区域<br>及びその周辺<br>2 地点 | (R3 繁殖期)<br>・ 既知営巣木で順調に繁殖活動を行っていると考えられたが、抱卵期から巣内育雛期に繁殖活動を中断したと考えられる<br>(R4 繁殖期前期)<br>・ 営巣地防衛と思われる攻撃行動等がみられたことや、既知営巣木に細い枝が追加されている形跡が確認され、順調に繁殖活動を行っていると考えられる  |
|      | 典型性の注目種<br>(セトウチサンショウウオ) | 3/21                           | 移設地<br>(A,B,C)           | ・ 移設地 A に卵のう 7 対、幼生 22 個体、成体 4 個体を移設したが、個体は確認できなかった<br>・ 移設地 B に卵のう 14 対、幼生 15 個体、成体 4 個体を移設し、卵のう 2.5 対、成体 2 個体を確認した<br>・ 移設地 C に幼生 8 個体を移設し、成体 2 個体を確認<br>・ 移設地 B,C は繁殖地として利用されていると考えられる<br>・ 移設地 A ではニホアガエルの成体と卵塊が確認されたことから、セトウチサンショウウオの繁殖地として利用される可能性が考えられる |
|      | 特殊性の注目種<br>(タコノアシ)       | 10/6                           | 移設地<br>(A,B,C)           | ・ 移設地 A に 87 個体移植して 320 個体を確認<br>・ 移設地 B に 37 個体移植して 3 個体を確認<br>・ 移設地 C に 24 個体移植して 7 個体を確認<br>・ 移設地 A では、湿地内の日当たりは良好であり、個体の草丈は 100cm 程度に達していた。確認個体の約半数は花穂を形成<br>・ 移設地 B,C では水域周辺の小規模な湿地で局所的に生育を確認。個体の草丈は 10cm 程度にとどまり、花穂を形成する個体は見られなかった                       |
| 施設調査 | 移設地の維持管理                 | 10/7<br>3/21                   | 移設地<br>(A,B,C)           | ・ 草本類の除草を行い、水域に適度な日当たりを確保<br>・ 移設地 A で、3/21 にアライグマによる食害防止用の電気柵の点検を行い、作動を確認   |
|      | その他環境保全措置の実施状況           | 工事<br>期間中                      | 工事实施区域                   | ・ 工事区域の調整、コンクリート、低騒音・低振動建設機械の使用等を実施  |

### 3.2. 調査結果のまとめ

#### (1) 上位性の注目種（オオタカ）

- オオタカは令和3年繁殖期に既知営巣木で繁殖活動を行ったが、6月下旬には既に繁殖活動を中断していることが確認された。
- 工事は巣内育雛期にあたる令和3年6月に着工し、営巣地から比較的離れた改変区域南部から徐々に工事区域を北側に広げていったことから、オオタカの工事への馴化（コンディショニング）は順調に行われており、工事による繁殖活動への直接的な影響はなかったものと考えられる。
- 令和4年繁殖期も工事前と同じ営巣木で順調に繁殖活動を行っており、オオタカは工事の存在を認識したうえで同じ営巣木を選択したと考えられる。以上から、令和4年繁殖期にはオオタカは周辺の工事に対して既にコンディショニングしており、工事による繁殖への影響は軽微であると考えられる。

（※補足：R4年繁殖期の調査では既知営巣木でオオタカの繁殖成功を確認した。）

#### (2) 典型性の注目種（セトウチサンショウウオ）

- 移設地A～Cのうち、移設地B,Cはセトウチサンショウウオの繁殖地として利用されていると考えられる。

#### (3) 特殊性の注目種（タコノアシ）

- 株移植を行った移設地A～Cのすべてでタコノアシの生育が確認された。
- 移設地Aは良好な湿地環境が維持されており、開花・結実個体も多数確認されていることから、再生産しているものと考えられる。
- 一方、移設地B,Cについては、生息環境が水辺周辺の狭い範囲に限られており、確認個体数も移植時より減少しているが、移設地B周辺の湿地上の棚田跡地に、移設地A,Cの生育個体を移植するとともに保存種子の播種を行い、個体数の増加に努める。

以上より、事業者として可能な限り生態系への影響の軽減が図られていると考える。